

平成28年度上期（4月～9月）

上士幌町総合戦略施策検証シート

（平成28年11月30日現在）

1 地場産業で地域の活力を生み出すまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）
雇用充足	59人（H27調査）	59人
新規雇用創出人数	—	30人

◇移住施策と連携した地場産業の人材不足解消

KPI

無料職業紹介所の相談件数	300件
--------------	------

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇無料職業紹介所の開設 雇用確保への対策として、町内の雇用情報をとりまとめて広く発信。移住・定住の流れを生み出す可能性を高める	相談件数 300件	・「かみしほろ会社・仕事図鑑」の作成、同WEBサイト運用。 ・「かみしほろ会社・仕事図鑑」を道内の高校、専門学校、大学の進路担当へ送付（31件）。 ・上士幌町無料職業紹介所（庁舎内）における職業相談。 【実績】 ・登録企業数35件 ・求職相談者数22件 ・企業紹介数12名 12回 ・採用者数8名 ・「かみしほろ会社・仕事図鑑」配布件数60件	・無料職業紹介所業務の周知徹底と利用促進。 ・企業向け勉強会等の開催による労働三保の加入促進と面接ノウハウ等の向上（H29.2開催予定）	町民課
◇重点道の駅「仮称バルーン」整備	新規雇用者数 15人	・委託業務（上士幌町交流・移住促進拠点基本計画策定業務）の発注及び町民参画による「上士幌町交流・移住促進拠点基本計画策定検討委員会」を立ち上げ、基本計画を策定中。平成29年3月末までに計画を策定予定。	・次のステップとなる基本設計、実施設計につなげるため、しっかりとした基本計画づくりが必要となっている。	商工観光課

◇農林業の活力向上

KPI

農業生産法人数（H26年4月現在19件）	新規2件
新規就農・新規雇用の青年等	10人
青年等就農計画（平成27年4月現在2件）	新規3件
農業後継者の有配偶率	増加
上士幌町農商工連携補助事業によって商品化した件数	2件
バイオマスエネルギー地域利活用（農業：家畜糞尿、林業：木質チップ）	新規3件

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇新規就農対策事業 本町の主要産業である農業の新規就農対策を推進し、農家戸数と農業者の確保を図る	新規就農人数 3件5人	・電話等での相談について随時実施。	・引き続き対応を図り、新規就農につながるよう関係機関との連携を図る。	農林課
◇家畜糞尿処理バイオガスプラントの導入による家畜糞尿処理対策への支援 ◇畜産業の大型化に伴う家畜糞尿処理対策と発生するバイオ	バイオガスプラント整備3か所に対する支援 新規雇用人数10名	・バイオガスプラントの導入に向け、上士幌町農業再生協議会で実施した「家畜糞尿処理対策の課題解決・耕畜連携に向けた基礎調査」及び「バイオガスプラント導入可能性調査」等の結果を踏まえ、平成29年度に4か所のバイオガスプラントの整備を進める	・今後更に関係団体との協議を進め、支援の方法やエネルギーの利活用等、バイオガス	農林課

ガスエネルギーの利活用		ため、協議を進めている。 ・バイオガスプラント整備に附随し、プラント運営会社として【仮称】(株)上士幌町資源循環センターの設立に向けた検討を進めており、新規雇用創出を図る。 ・バイオガスエネルギーの利用については、バイオガス発電に向けた売電環境整備の検討やエネルギーの地産地消に向けた先進地視察・調査を実施した。 ・バイオガスプラントからの副産物を利用した耕畜連携や新事業の創出に向け、検討会議体を立ち上げ、関係機関による協議・先進地視察の実施により、早期実現に向けた検討を進めている。	構想の早期実現に向けて検討を進める。	
◇農業におけるアウトソーシング化への支援 地域農業の効率性・収益性向上と労働力の軽減	新規哺育事業への支援 新規雇用人数 6名	・哺育・育成センターの設立に向け、上士幌町地域資源活用推進協議会に検討会議体を立ち上げ、町内畜産農家に対する要望調査や先進地視察を実施した。	・哺育・育成センター建設用地の確保。 ・施設整備に向けた補助事業等の検討。 ・関係団体との調整を図り、実現に向け協議・検討を進める。	農林課
◇家庭形成に向けた出会いの機会創出支援（農業後継者）		・上期の取組はなし。下期においては以下のとおり実施予定であり、取組を進めている。 ①第23回北海道十勝農業青年との交流会（北十勝4町による実行委員会形式で大阪近郊の女性との交流会）を開催予定（11月） 2名参加予定 ②上士幌町農業青年カップリングパーティー（JA青年部と十勝管内の女性との交流会）の開催予定（12月） ③農業青年婚活交流会（JA青年部と札幌近郊の女性との交流会）の開催予定（12月） ④ALLとかち札幌交流会（清水、池田、足寄、陸別、本別、音更、士幌、上士幌による実行委員会形式で、8町の農業青年と札幌近郊の女性との交流会）の開催予定（1月）	・参加する青年の確保。	農業委員会事務局
◇森林整備計画の推進		・整備計画に基づき町内民有林の整備を推進。	・整備計画の確実な実行。	農林課
◇公共施設における木質バイオマスボイラー導入	公共施設整備 新規雇用人数 2名	・上士幌町木質バイオマス導入可能性検討会議において議論する予定。	・課題整理と方向性について検討を進めたい。	農林課

◇建設業の活力向上

KPI

建設業における求人	充足
-----------	----

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇社会資本整備の充実		・道路改良舗装事業の実施（糠平北区8号線道路改良舗装事業、平和東7線道路舗装事業）。 ・歩道改修事業（上士幌40号歩道改修事業）。 ・水道施設整備事業（居辺浄水場自家発電施設更新）。 ・水道管布設整備事業（7箇所管路布設替整備事業）。	・今後も改良舗装の再整備や未舗装箇所の整備により安全な通行の確保を図っていく必要がある。 ・安全で安定した給水等を行うため、今後も計画的に施設改修が必要である。	建設課

◇インフラの維持管理事業の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁定期点検事業 60橋。 ・橋梁長寿命化修繕事業 2橋。 ・町道等維持管理事業（機械除草、路面整正、道路側溝等清掃）。 ・公共下水道事業（下水道長寿命化計画に基づき施設改修）。 	・道路施設の老朽化や、台風等の大雨により、改修が必要な箇所が増加している。	建設課
◇建設業における人材育成に対する支援		<ul style="list-style-type: none"> ・上士幌町無料職業紹介所事業による支援。 ・十勝北西部通年雇用促進協議会（音更町・上士幌町・上士幌町・鹿追町・新得町・清水町・芽室町・幕別町）による通年雇用を目的とした事業。 季節労働者向け（求人・求職者情報、雇用相談窓口の開設、人材育成事業、資格取得促進事業等） 事業所向け（企業経営セミナー、求人開拓事業、建設工事等平準化対策事業等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介所業務の周知徹底と利用促進。 ・十勝北西部通年雇用促進協議会が実施している事業の周知徹底と利用促進。 	町民課

◇商工業の活力向上

KPI

空き店舗等における新規開業や新たな利用	5件
新規商品開発件数（H26 4件）	延べ20件

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇商工業者に対する資金支援		・上士幌町中小企業融資条例に基づき、3件11,000千円の支援を行った。	・商工業者の経営の安定化を継続的に支援していく必要がある。	商工観光課
◇商店街活性化支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税町民還元プレミアム商品券発行事業 販売日：平成28年6月19日～7月15日 販売額：60,748,000円（プレミアムなし） プレミアム率：25% 額面：4,000円一口で500円券10枚販売 限度額：1人8口まで 購入者数：1,948名（人口割39.6%） 参加店舗数：187店舗 ・まちなか交流サロン事業 開設日：平成28年4月2日～3月31日 週3回 156日間 	・商店街の賑わいを継続的に支援していく必要はあるが、その事業の内容については、より効果的な事業を検討していく必要がある。	商工観光課
◇起業支援及び空き店舗対策の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援及び空き店舗対策の推進のために、商工会と協力して創業支援促進事業要綱を策定（平成28年4月1日施行）。 ・上士幌町創業支援促進事業補助金交付要綱に基づき、1件3,000千円の支援を行った。 	・起業希望者に対して、創業支援促進事業により支援を進める必要がある。	商工観光課
◇商工業者の後継者育成・雇用確保		<ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成対策の推進のために、商工会と協力して創業支援促進事業要綱を策定（平成28年4月1日施行）。 ・上士幌町創業支援促進事業補助金交付要綱に基づき、1件3,000千円の支援を行った。 	・後継者に対して、創業支援促進事業により支援を進める必要がある。	商工観光課
◇地域資源を活用した商品開発		<ul style="list-style-type: none"> ・上士幌町農林商工等連携・ビジネス創出促進事業により、地域資源を活用した新商品の開発に1件602千円の支援を行った。 上士幌町産秋田大豆を使用した焼酎開発プロジェクト事業（秋田大豆焼酎） 	・新しく地域資源を活用した新商品の開発を行っていく人材を発掘する必要がある。	商工観光課

◇観光産業の活力向上

K P I

観光入込数：H26年360千人	415千人（15%増）
-----------------	-------------

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇インターネット不感地帯の解消促進 ・インバウンド等観光客誘客に求められる高度情報網整備		・本町の観光施設ナイタイ高原牧場レストハウス仮設店舗内にW i f i 環境を整備し、インバウンド等観光客に対し充実を図った。	・日本人使用のパンフ等を翻訳して解消を図っているが、今後は外国人目線での情報発信が必要になっていく。	商工観光課
◇インバウンドを含む観光客誘致 ・外国人観光客の受け入れ環境整備、効果的な観光プロモーションの展開、情報発信の強化 ・滞在・体験型観光プログラムの開発、担い手となる人材の育成 ・老朽化した観光施設等のユニバーサルデザインに配慮した再整備	観光客入り込み数 360千人（H26）→415千人（H31） 15%増	・インバウンド向けに3か国語のパンフレットを各施設より配布。またHPについても各国に対応しながら情報発信を進めた。 ・体験型観光プログラムとして本町全体を使った体験イベントを開催。大学と連携し、各体験メニューの今後の可能性を調査した。 ※8月10日（水）～11日（木）「上土幌体験マルシェ」実施（20メニュー、450名参加） ・レンタサイクル事業を昨年度の実証調査を受け、料金を徴収して本格実施。 ※4～10月 65名利用。（ステーション 町内自転車店、情報館、自然館） ・糠平温泉文化ホールのバリアフリー改修工事の実施（トイレ改修、手すり設置など）。 ※工期 8月～12月	・各国の情勢により外国人来道客が左右されるため、複数の国をターゲットにプロモーションを進める必要がある。 ・体験型観光の重要な柱は人材であることは間違いないので、人材育成に今後も力を入れていく必要がある。	商工観光課

◇企業誘致

K P I

新規雇用者数	30人増加
--------	-------

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇企業誘致対策事業		・旧北門小学校跡地について、教育、文化、福祉、産業、地元雇用の創出など地域振興に資することを目的とし、有効に活用していただく事業者を公募（H28.12月まで）。 ・十勝製菓株式会社が旧北居辺小学校を菓子製造工場として利用する方針を固め、町が窓口となり、総務省の「地域経済循環型交付金」を活用するため、事業申請を行った。	・都度、可能性のある企業への働きかけを行う。	企画財政課

◇地産品の消費拡大

K P I

特産品のレシピ開発	30品
-----------	-----

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇ふるさと納税特産品消費拡大プロモーション		・新規レシピを5品開発し、クックパッドの上土幌キッチンに追加した。	・ふるさと納税寄付者を中心に、更なる周知を図る。	企画財政課

2 子育て・教育の充実したまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）
合計特殊出生率	1.61	1.90
学力・体力・体験		北海道トップレベル

◇子育て世帯における経済的支援の一体的実施

KPI

子育てしやすいと感じる人の割合47.1%（H27アンケート調査）	増加
認定こども園における待機人数（H27ゼロ）	維持

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇高校生世代までの医療費の無料化		<ul style="list-style-type: none"> ・H28高校生世代受給者証数（H28.9月末現在）→97名 ・H28助成金額（H28.4～9月分）→814,413円 		保健福祉課
◇教育に係る保護者負担の軽減 ○幼児に係る保育・教育費の保護者負担の軽減 ・2km以上の遠距離通園者への補助 ○児童・生徒に係る教育費の保護者負担の軽減 ・就学援助 ・補助教材補助	保育料無料化 修学旅行経費の助成	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園の保育料無料化の実施。 ・認定こども園までの往復の距離×2回×20円×通園日数の補助を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園児童の増加による保育教諭・代替・補助職員の確保。 ・未満児入園児童の増加に伴う保育環境の整備。 	教育委員会事務局
◇子育て支援・少子化対策建設助成金交付事業		<ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅5件 9,000千円 対象子ども9名。 ・中古住宅0件。 	・空き家の活用等について検討が必要。	建設課

◇出産や子育てにおける安心の確保

KPI

育児短時間勤務を導入している事業所数	増加
--------------------	----

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
育児短時間勤務の推進		・「事業所ヒアリング」において子育て支援制度の導入状況について調査を実施。	・育児休業や子育てに関する年次休暇等の取得促進を図るとともに、子育て期間の短時間勤務の促進などについて、関係機関と連携の上、企業などに働きかける。	町民課
地域で育む子育てサロンの開設		<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園内に設置している「子育て支援センター」において、以下の事業を実施している（就学前のお子さんと保護者や妊婦さんが対象）。 ・親と子が安心して過ごせる居場所として、子育てに向き合うゆとりと自信を高める場の提供。 くすくす広場 対象 0～2歳誕生日までのお子さんと保護者・妊婦さん	・認定こども園の最初の窓口である子育て支援センターは、親子が安心して過ごせる居場所づくりに今後も務めていくとともに、こども園へ	教育委員会事務局

		<p>実施 毎週月曜日 9:30~11:30 〈なかよし広場〉対象 0歳~就学前のお子さんと保護者 実施 毎週月・水曜日 14:00~15:30 毎週水・金曜日 9:30~15:30 ・親子で取り組める製作や音楽リズム、外遊び等の提供。</p> <p>〈なかよしチャレンジ〉対象 0歳~就学前のお子さんと保護者 実施 月1回 なかよし広場内(第2金曜日企画) ・妊婦同士や地域との交流の場所と機会を確保することで母親の孤立を防ぎ、出産後の育児不安の軽減につなげる。</p> <p>〈マミーズ広場〉対象 妊婦さん 実施 毎月第1木曜日 10:00~11:30 毎月第3金曜日 14:00~15:30 ・同じような月齢のお子さんを持つ母親同士や妊婦同士の交流、子育て相談や情報提供などの機会を確保することで孤立を防ぎ、育児負担の軽減につなげる。</p> <p>〈ベビーズ広場〉対象 0~1歳誕生日までの親子(第1子)と妊婦さん 実施 毎週木曜日 14:00~15:30 ・集団での利用が苦手な親子を対象に、個人または少人数で利用できる場の確保。</p> <p>〈ちいさな広場〉対象 0歳~就学前までのお子さんと保護者 実施 毎週火曜日 10:00~11:30 14:00~15:30 毎週木曜日 10:00~11:30 ・育児サークルの場に職員が出向き、育児相談や遊びの提供をして、子育てを通した仲間作りの応援をする。</p> <p>〈子育てサークル支援〉月1回(第2火曜日) ・センター来所時及び電話により子育てに関する様々な相談に対応し、育児不安解消につなげていく。</p> <p>〈子育て相談〉毎週月~金曜日 ・あそびの広場に認定こども園栄養士を招き、子どもの食事に関する不安・疑問を軽減する。</p> <p>〈栄養相談・栄養講話〉栄養相談2回 栄養講話1回 ・認定こども園の給食やおやつを食べてもらうことで乳幼児期に適した食事やおやつ の味や量などの内容を知ってもらう。</p> <p>〈ほろんランチ〉2回 〈ほろんおやつ〉1回 ・子育てに関する知識を学び、育児不安を軽減する子育て講演の開催。</p> <p>〈子育て講座〉1回実施</p>	<p>の架け橋となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料無料化に伴い、認定こども園に入園する児童が増加し、子育て支援センター利用者が減少している。そのため、更に認定こども園入園児童や保護者にも利用しやすい場(広場)の提供を検討する。 ・認定こども園・保健師・子ども発達支援センターとの連携を図り、要支援の児童や保護者への継続した支援を充実させていく必要がある。 	
病児・病後児保育事業の検討		<ul style="list-style-type: none"> ・町内医療関係者と連携し、管内で病児・病後児保育の実施個所の視察を実施し、具体的な検討を進めることとしている。 		教育委員会事務局

◇豊かな子育てを支える質の高い学力・体力・多様な体験機会の体系化

KPI

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の平均記録（小学5年・中学2年実施）	北海道トップレベル
全国学力・学習状況調査の平均正答率	北海道トップレベル
地域資源を生かした体験活動の推進	北海道トップレベル
地元からの上高進学率 38%（H23～27平均）	50%以上

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
<p>◇学力・体力・体験の北海道トップレベルを実現</p> <p>○上士幌町子ども教育ビジョンの具現化 ～【「かみしほろ学園構想」（仮称）の策定】</p> <p>○幼児から高校まで一貫性のある教育プログラムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通教材の開発、導入 ・地域総ぐるみのキャリア教育（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な意欲・態度や能力を育てていく教育）支援 	<p>○全国学力・学習状況調査より（小学6年・中学3年実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っている児童・生徒 <p>小学校 89% 中学校 68%（H22～26平均）→100%（H31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外の勉強時間1時間以上の児童生徒の割合 <p>小学生 平日 43% 土日 51%（H22～26平均）→80%以上（H31）</p> <p>中学生 平日 57% 土日 59%（H22～26平均）→90%以上（H31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている児童生徒の割合 <p>小学生 99% 中学生 93%（H23～26平均）→100%維持継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の平均正答率→北海道トップレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係5団体（上士幌町小中高連携教育推進会議、上士幌町学校教育推進協議会、上士幌町特別支援教育振興会、上士幌町教育研究所、上士幌町複式教育研究協議会）を再編し、かみしほろ学園推進本部を設立。 ・設立総会の開催（平成28年4月27日）。 かみしほろ学園推進本部及び連携教育部会、研修・教育研究部会、特別支援・複式教育部会の3部会を設置。 ・かみしほろ学園推進本部の取組 <ul style="list-style-type: none"> ①役員会の開催（3回）。 ②かみしほろ学園推進本部だよりの発行（1～2号）。 ③秋田県東成瀬村教育視察の実施（日時：7月3～5日、参加者9名）。 ・連携教育部会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ①ユネスコスクール（ESD）の指定に向けた取組。 ※各学校で行っている取組の体系化。 ユネスコスクール（ESD）推進のための連続講座の検討。 ②漢字検定（1回）、英語検定（1回）の実施。 ③芸術鑑賞会の実施（小学校9月2日、中学校9月13日）。 ④上士幌中学校2年生を対象とした「かたり場」の実施を通じたキャリア教育の推進（9月5日実施）。 ⑤吹奏楽器の購入・修繕（上士幌中学校ティンパニー購入998,000円）。 ・研修・教育研究部会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ①自己管理手帳「iBノート」の導入と活用（認定こども園シール帳、小学校ノート、中学校手帳、高校手帳、5月導入済み）。 ②家庭学習の手引き発行 7月19日。 ③ユネスコスクールの実践検討と授業力向上をメインとしたかみしほろ学園教育研究大会（町研）を11月22日実施予定。 ・特別支援・複式教育部会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ①子育てサポートブック「アーチ」の作成と配布（発達支援センター利用者のほか、希望者251名に7月配布）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かみしほろ学園構想に明記された各事業の推進と充実を進める。 ・積極的な情報発信を進める。 ・認定こども園、町内小中学校のユネスコスクール指定に向けた取組を進める。 ・自己管理手帳「iBノート」の活用と検証・評価・改善を進める。 ・子育てサポートブック「アーチ」の活用と検証・評価・改善を進める。 	<p>教育委員会 事務局</p>

<p>○地域とともにある学校づくり「コミュニティ・スクール制度」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から導入 		<ul style="list-style-type: none"> ・4月11日 学校運営協議会委員合同委嘱式の開催。 第1回コミュニティ・スクール委員会の開催。 1年間の取組テーマ「学校を知り、学校運営協議会の役割を知る」 ・各小中学校における学校運営協議会の開催（各2回）。 ・全国コミュニティ・スクールフォーラム in 由利本荘市に参加（日時：7月29日、参加者3名）。 ・コミュニティ・スクール（CS）コーディネーターの設置。 上士幌小学校に常駐し、CSレター（カレンダーを含む）の作成、学校と地域の連絡調整、「ゆめ育」応援団の結成等を行う。 ・コミュニティ・スクール（CS）レター「きずな」を8号まで発行。 ※保護者、「ゆめ育」応援団、学校運営協議会、社会教育委員へ配布するほか、町広報へ掲載。 ・「ゆめ育」応援団の募集と登録（9月末現在登録数 企業25、団体2、個人20） 学校の授業や行事、放課後子ども対策事業「放課後ほろんクラブ」等において、応援団登録者の参加・協力が行われている。 ・交通事故防止川柳コンテストの実施（上士幌小学校運営協議会、上士幌小学校、上士幌駐在所共催事業、応募期間6月15日～7月5日、79名179作品）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員を対象とした研修会等に積極的に参加し、コミュニティ・スクールに関する知識を深めるとともに、コミュニティ・スクール委員会を中心に積極的な情報発信を進め、本制度に対する町民の関心と理解を深める必要がある。 ・コミュニティ・スクールコーディネーターの機能充実を図り、「ゆめ育」応援団の学校教育への積極的な参画を進める必要がある。
<p>○課外活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師等の積極的な課外活動での活用 ・少年団から高校までの課外活動の環境整備と指導者の確保 		<ul style="list-style-type: none"> ・上士幌中学校及び上士幌高校吹奏楽部において外部講師の招聘を実施した（5月21日、6月25日、7月24日）。今後12月、1月、2月に実施予定。 ・小中高の卓球部において、外部講師の招聘を実施した（7月17日）。今後12月23日～25日の3日間連続で実施予定。 ・吹奏楽部や卓球など一部の活動で、中学校と高校、少年団と中学校の指導者同士が連携を持ちながら活動した。 ・一流プロジェクト事業の希望調査と事業選定を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な活用を進める必要がある。 ・現在、一部の競技等にとどまっている少年団から高校までの連携を、更に多くの競技等で行う必要がある。それにより、子どもたちが個々のやりたいスポーツや文化活動を将来的な目標をもって取り組むことができる。 ・一流プロジェクト事業等を活用し、一流のアスリートやアーティストの実技に触れ、指導や講話を受けることにより、技術の上達や目標の明確化を促すことが重要である。

<p>○確かな学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級教諭の配置 ・ティームティーチングによる習熟度別指導の実施 ・小学校への専科教諭配置の検討 ・土曜学習の実施 ・放課後対策の充実 ・外国語活動教育の推進 ・読書の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・上士幌小学校1年生と4年生を2学級に分け、小1プロブレムの解消と児童一人一人と向き合える35人以下学級の実施による教育活動を推進（教諭2名配置）。 ・上士幌小学校2年生、3年生の学級に学校教育推進支援教員を1人ずつ配置し、習熟度別指導ができるような体制整備を図った（TT2名配置）。 ・平成28年度から新たに体育と音楽のTTを配置し、体力向上や芸術分野における豊かな感性の育成と合わせ、各教員が子どもたち一人一人と向き合える体制整備を図った（TT2名配置）。 ・一部業務委託を行い13回実施。 ※イングリッシュゲーム、馬頭観音像めぐり、料理教室、酒井式で絵を描こうなど ・各小学校で「ゆめ育」応援団等の協力を得ながら「放課後ほろんクラブ」として8つのプログラムを実施。 ※羊毛クラフト、昆虫観察、中国の言葉・環境・食文化、ブラインドサッカーなど。 ・土曜学習（イングリッシュゲーム）を通じた英語学習の実施。 ・町内小中高等学校に外国語指導助手の派遣を行っているが、平成28年度から上士幌小学校に週3日常駐させ、生きた外国語や文化に触れる機会の創出を図るとともに、英語活動のみではなく、その他の授業や放課後活動にも一緒に参加させることにより、コミュニケーション能力の向上を図っている。 ・認定こども園に外国語指導助手を常駐させ、私立保育所にも月1回ペースで出向き、外国語に親しむとともにコミュニケーション能力の向上を図っている。また、認定こども園で交流を図ってきた上士幌小学校新1年生の外国語活動にも参加協力してきている。 ・平成28年度から読書コーディネーターを週3日上士幌小学校に常駐させ、図書館の充実と読書の推進を図った。 ・上士幌小学校への可動式書棚（14台）の整備。 ・認定こども園、町内小中学校における学校図書の購入。 ・上士幌小学校、上士幌中学校における図書にバーコードを整備し、貸出し管理を行った。 ・上士幌町図書館、お話し「カッコウ」等による読み聞かせの推進。 ・上士幌町図書館の事業（巡回文庫、ブックスタート、図書館講演会等）を通して読書の推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に町民自らが担い手となるよう進める一方、参加者の増加を図る必要がある。 ・バス待ちの児童を対象とした放課後子ども教室との連携を図るとともに、魅力あるプログラムの実施と「ゆめ育」応援団との連携を進める必要がある。 ・子どもの読書推進計画に基づき町立図書館、学校、こども園、地域、家庭等が連携し、子どもたちが読書をしやすい環境づくりを図る必要がある。そのために、町民の読書推進に対する関心と理解を深めるため、積極的な情報発信を進める必要がある。 ・子どもの読書推進計画の具現化を図るために、毎年度、アンケート調査等による検証と評価を行う必要がある。 	
--	--	--	---	--

<p>○体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ環境の整備 <p>・少年団活動、部活動の活性化</p> <p>○地域資源を生かした体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土を学ぶ体験、自然環境を生かした体験、基幹産業に触れ合う体験 ・体験活動の単位化を検討 	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の平均記録(小学5年・中学2年実施)</p> <p>→北海道トップレベル</p> <p>○上士幌まるかじり体験学校(仮称)の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした体験活動の体系化 ・本町の自然環境を活かした体験活動を開発 	<p>《その他学力向上に向けた対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査により子どもたちの学力が二極化にあることを踏まえ、公教育のサポートとして生徒個々の学力に応じた個別指導の対策を進めていくために、「公設民営塾」設立を検討していくこととした。 具体的には、公設民営塾の実績のある民間事業者に委託し、長期休業中の夏期講習と冬期講習の実施により、生徒や保護者のニーズと課題を把握し、草案作成に向けて検討していくこととした。 ・講習会受講者対象者 上士幌中学校生徒(68名受講) 上士幌町在住の上士幌高等学校生徒(8名受講) ・夏期講習会開催期間 7月25日～8月25日 <ul style="list-style-type: none"> ・野外体育施設の整備。 ※町民テニスコート看板及びベンチ(9台)更新、少年野球場簡易野外ネットの設置等 ・各種スポーツ大会の実施。 ※町民マラソン大会(9月24日)、町民ソフトテニス大会(9月4日)、水中レクリエーション祭り(9月3日) ・各種スポーツ教室の実施。※子ども向け水泳教室(6月～8月、28回) <ul style="list-style-type: none"> ・少年団体験会の実施(日時:4月10日、参加者:23名)。 ・スポーツ振興助成の実施19件(9月末現在)。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育、学校教育、観光等の各分野において、様々な地域資源を生かした体験活動の実施。 ※かみっ子ふるさと体感塾(2回)、土曜学習、放課後対策事業における体験プログラム、自然探検クラブ(3回)等の実施。 ・自然環境教育推進事業としてNPOひがし大雪自然ガイドセンターに委託し、認定こども園、町内小中学校において体験学習の実施(15回)。 ※自然の宝さがし、はだしで歩こう、葉っぱのスタンプづくりなど。 ・上士幌高校において地域資源を生かした「上士幌学」の教科化を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもたちが活用しやすい施設づくりを目指し既存の施設の整備を行うとともに、町内スポーツ施設の老朽化が進んでいることから、施設の集約化を含めた全体計画の検討を進める必要がある。 ・各種スポーツ教室及びスポーツ大会の充実を図る。 ・様々なスポーツに触れる機会の創出を図るとともに、一流プロジェクト事業等を活用し、一流選手や指導者の実技に触れ、指導や講話を受けることにより、技術の上達や目標の明確化を促すことが重要である。 ・新たな体験事業の開発を進めるとともに、幼保小中高のつながりを意識し、現在、事業主体ごとに実施している事業の体系化を図る必要がある。 	
--	--	--	--	--

<p>○子ども発達支援センター事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児からの適切な発達を促す取り組みの推進 ・途切れのない支援体制確立 	<p>○乳幼児からの適切な発達を促す取り組みを通じて、発達のアンバランスな子どもの軽減につなげる。</p>	<p>※年間88時数を活用して上士幌町及び十勝の自然、郷土史、特産品開発についての内容を3年生選択科目において展開中。3年生生徒18名が選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談 20件。 ・関係者とのケース会議を必要に応じて開催。 ・就学前幼児の成長発達を促す全身運動を通し、身体の基本づくりと家庭での取組を支援する新事業「みにーず」（幼児グループ活動）の実施 3名。 ・通所支援事業（児童発達支援）「にこにこ教室」 8名（昨年対比3名増加）。 ・通所支援事業（放課後デイ）「ユースクラブ」 25名（昨年対比4名増加）。放課後デイ利用学年～小学1年生から高校1年生まで利用。 ・私立保育所・認定こども園・小学校・中学校・高校への定期的な訪問の実施。 ・関係者向け研修会 6月9日 講師 奥村智人氏 発達支援センター職員向け テーマ「見る力と学びの関係」 町内教育関係機関職員向け テーマ「見る弱さと学習の関係」 ・1,6歳・3歳児健診への協力。 	<p>・新事業に対する対象者への周知徹底と参加奨励が課題である。</p>	
<p>◇魅力ある上士幌高等学校の振興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の支援による活性化 ・キャリア教育（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な意欲・態度や能力を育てていく教育）の推進 ・学力向上、進学対策の推進 ・遠距離通学者や通学困難者の民間下宿、又は寮整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの上士幌高校進学率 38%（H23～27 平均）→50%以上 ・定員 80 人の入学生確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・上士幌高等学校振興会を通じた各種支援の実施。 各種検定料（漢字検定・英語検定・簿記等）の補助 熱気球部活動経費への補助 各部活動遠征費や用具購入等への補助 管内大学見学やカタリバ（現役大学生との意見交換）等のキャリア教育への補助 通学費の全額補助 等 	<p>・魅力ある選ばれる高校としていくため、振興支援策の見直しを行い、地元からの進学率向上と入学生の安定的な確保に結び付けていくことが課題である。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>◇幼児から高齢者までが互いに学び育つ生涯学習センターを活用した世代間交流の促進（H28）</p>	<p>施設年間利用者数 44,500 人（H26） （学童保育所・発達支援センター一舎）→84,500 人（H29） H30 以降各年 1,800 人増</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター改築工事の実施。 ①建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 工期：平成28年4月28日～平成29年5月15日 ②既存部分改修工事 工期：平成28年6月8日～平成29年6月30日（予定） ③生涯学習センター愛称の募集 応募期間：平成28年11月25日～12月30日 ④必要備品の選定を進めた。 	<p>・平成29年6月の供用開始に向け、施設の維持管理・運営について整理し、関連条例、規則等の制定を進めるとともに、計画的な備品の購入を行う必要がある。</p>	<p>教育委員会事務局</p>

◇子どもの健やかな成長支援

KPI

妊婦相談実施率	100%
赤ちゃん訪問実施率	100%
乳幼児健診受診率	100%

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇妊婦相談（H26 100%）	100%	・全ての妊婦と面談実施（H28 31名・100%）	・妊娠期から子育て支援を充実させるために妊婦面談を継続する。	保健福祉課

◇赤ちゃん訪問（H26 100%）	100%	・赤ちゃん訪問（H28 13名・100%）	・訪問不可の場合でもその他の方法で状況把握することを継続する。	保健福祉課
◇乳幼児健診（H26 98.6%）	100%	・乳幼児健診（H28 29名・87.9%）	・未受診の場合でもその他の方法で状況把握していく。	保健福祉課
◇子ども発達支援センター事業の充実 ・乳幼児からの適切な発達を促す取り組みの推進 ・途切れのない支援体制確立	乳幼児からの適切な発達を促す取り組みを通じて、発達のアンバランスな子どもの軽減につなげる	・発達相談 20件 ・関係者とのケース会議を必要に応じて開催。 ・就学前幼児の成長発達を促す全身運動を通し、身体の基本づくりと家庭での取組を支援する新事業「みにーず」（幼児グループ活動）の実施 3名 ・通所支援事業（児童発達支援）「にこにこ教室」 8名（昨年対比3名増加） ・通所支援事業（放課後デイ）「ユースクラブ」 25名（昨年対比4名増加） ・私立保育所・認定こども園・小学校・中学校・高校への定期的な訪問の実施。 ・関係者向け研修会 6月9日 発達支援センター職員向け テーマ「見る力と学びの関係」 町内教育関係機関職員向け テーマ「見る弱さと学習の関係」 ・1, 6歳・3歳児健診への協力	・新事業に対する対象者への参加奨励を更に効果的に行うことによる参加者増が課題である。	教育委員会事務局

◇命の尊さを確認し心豊かな成長と家庭形成に向けた支援

KPI

生教育モデルに基づいた認定こども園、小学校、中学校での授業の実施率	100%（H26 100%）
学童・思春期に対する心の健康講座実施率（中学校・高校・保護者）	100%（H25 高校生実施）
20歳から39歳まで女性有配偶者率	増加

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇生教育事業 ・発達段階に応じた生教育の実施	生教育モデルに基づいた認定こども園、小学校、中学校での授業の実施率 →100%（H26 100%）	・学校との連携の下、中学校3年生を対象に上土幌町生教育モデルに基づいた授業を4時間実施。今年度中にこども園、小学校でも実施予定。	・授業内容充実のため関係機関との連携を継続する。	保健福祉課
◇こころの健康づくり支援事業 ・学齢期・思春期に向けた心の健康づくりに関する知識の普及 ・関係機関と連携した相談支援体制の強化	学童・思春期に対する心の健康講座の実施率（中学校・高校・保護者） →100%（H25 高校生実施）	・思春期に対する心の健康づくりに関するパネルを自殺予防週間である9月に健康増進センターに展示。 ・高校生に心の相談先を周知する。	・発達支援センターで学童、思春期の自己理解等、心の健康づくりに関連する講座が実施されているため、今後も広報等で知識の普及を図っていく。 ・自殺予防等の観点から必要時にはケース会議を開催し相談体制を強化していく。	保健福祉課

◇家庭形成に向けた出会いの機会創出支援		・商工会青年部とJA青年部が実行委員会形式で行う、「婚活night in しみほろ」事業に対し補助する「総合戦略出会いの機会創出事業」を予算計上。	・青年部が実施する自主的な取組に対して引き続き支援を行っていくことを検討。	企画財政課 商工観光課 農林課 農業委員会 事務局
◇子育てを通じた男女共同の推進支援		・「マミーズプラザ（妊娠期・講座Ⅰ）」 H28 実施2回 母親の参加 5名・父親の参加 1名 ・「カンガルー教室」 H28 実施2回 母親の参加 10名・父親の参加 3名 ・認定こども園内に設置している「子育て支援センター」における父親が参加してきている事業は「ベビーズ広場」のみであり、センター全体の保護者参加の1%にも満たない程度の参加である。 ※詳細は、「◇出産や子育てにおける安心の確保」の実施予定事業「地域で育む子育てサロンの開設」での記載内容を参照。	・父親の参加について、個別に勧奨していく。 ・父親が参加しやすい内容を工夫し、個別に働きかけて父親の参加を促していく。	保健福祉課 教育委員会 事務局

3 健康で安心して暮らせるまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）
健康寿命の延伸（不健康な期間の短縮）	【平均寿命－健康な期間の平均＝不健康な期間の平均】 (H25) 男性 81.84 歳－80.52 歳＝1.32 歳 (H25) 女性 86.88 歳－83.39 歳＝3.49 歳 ※厚生労働科学研究費補助金 「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」より	男性 1.0 歳 女性 3.0 歳
要介護認定率	17%（H27年6月現在）	19.0%（H32年第6期介護保険事業計画値 20.16%）

◇健康管理の習慣化を促進

KPI

乳がん・子宮がん検診受診率	100%
特定健診実施率	60%
肥満（BMI25以上）の人の割合	28%

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇生活習慣病の発症・重症化予防の推進 ・特定健康未受診者への勧奨 ・健診結果説明会の充実 ・健診受診者へのスタンプポイント事業 ・食育に関する普及啓発促進	特定健康診査実施率→60% (H21～H25 平均 42.6%) 特定保健指導実施率→65% (H21～H25 平均 59.6%) 肥満 (BMI25 以上) の人の割合→28% (H25 29.3%)	・広報、ホームページの掲載、年代に応じた個別通知、家庭訪問や電話による受診勧奨を実施（特定健診実施率 H27 推定値 43.6%）。 ・血糖高値者に対する二次検査の実施。特定保健指導率向上のための積極的支援メニューを拡大（特定保健指導実施率 H27 推定値 42.3%）。 ・健康マイレージ事業実施。 ・広報シリーズ化による食に関する知識の普及等のほか、各種食育事業の実施。	・年代や受診歴等、対象者の特徴に応じた受診勧奨方法を継続し、受診率向上を目指す。 ・二次検査、積極的支援等への指導を充実する。 ・健康マイレージ事業実施に	保健福祉課

			よる健康活動への参加者増加に向けた普及啓発の充実。	
◇がん検診受診促進事業（医療との連携） ・乳がん予防キャンペーン講演会の開催 ・乳がん専用PET検診費用の助成	乳がん・子宮がん検診（好発年齢） 受診率→100%（H26 19.8%） 胃がん・肺がん・大腸がん検診（好発年齢） 受診率→20%（H26 17.0%）	・乳がん・子宮がんに関する普及啓発の実施（乳がん予防学習会1回、ピンクリボンウォーキング1回、女性がん予防普及啓発パネル展示、看板設置、広報、HP等）。 ・乳がん検診・子宮がん検診好発年齢に対する検診費用の無料化、乳がんPET検診の導入。 ・大腸がん検診対象者のうち、特定の方（40～60歳、5歳刻み・国保以外）へ個別案内。 ・各種がん検診受診率 40～69歳 乳がん検診（H27 39.7%） 20～69歳 子宮がん検診（H27 29.7%） 40～69歳 胃がん検診（H27 13.9%） 40～69歳 肺がん検診（H27 16.0%） 40～69歳 大腸がん検診（H27 18.5%）	・子宮がん、乳がんの受診率を向上させるため普及啓発、検診費用の無料化を継続実施する。 ・胃内視鏡による胃がん検診など、より精度が高く、魅力ある検診方法を選択できるよう検討し、受診者を拡大していく。	保健福祉課
◇心の健康づくり推進 ・相談体制の整備 ・メンタルヘルスや自殺予防に関する普及啓発	自殺による死亡者数→0人（年平均2人 ※H20～24）	・心の相談日実施（H28 延べ37名利用）。 ・職域に対するメンタルヘルス講演会の開催予定。 ・自殺による死亡者数（H25 5名）	・心の相談日を継続し、身近な相談場所としての利用勧奨を継続。 ・心の健康づくりに関する健康教育を継続する。	保健福祉課

◇地域包括ケアシステムの実現

KPI

小規模多機能型居宅介護利用者の登録者数	0人（H26末）→24人
まるごと元気アッププログラムへの延参加人数	15,600人（月65人×48週×5年）
地域活動支援センター等利用者数	13名（H26年 8名）

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇地域医療を支えるための医療従事者等の確保 ・医師・看護師等の確保対策支援 ◇24時間365日を支える医療・介護体制の整備 ・救急医療体制の充実 ・在宅支援診療所の整備 ・医療・介護の連携 ・セラピストによる在宅リハビリテーション支援の実施 ・発達障がい児へのリハビリアプローチ ・介護職員初任者研修実施事業	医療機関等の数の維持 診療所2カ所、歯科医院2カ所、調剤薬局2カ所 訪問診療件数 （町内医療機関2カ所合計） 訪問看護件数（医療・介護含む） 訪問・通所リハビリの利用者数の増加 医療介護連携にかかる協議会開催数→年3回（H28中に協議体設置）	・医療機関等の数は維持されている。 ・訪問診療件数（2カ所）4～9月 延べ681名（はげあん診療所0名） ・訪問看護件数 訪問看護ステーション 1名 延べ訪問回数 27回 上士幌クリニック訪問看護 1名 " 10回 上士幌クリニックの訪問看護体制が整い、月に4回程度の定期訪問は可能となった。 本別地域訪問看護ステーションによる訪問看護は医療（精神）1名のみ。 ・訪問リハビリ 実利用者数 4月 9名 → 9月 12名 ・通所リハビリ " 4月 37名 → 9月 42名 ・医療介護連携にかかる協議会 未実施 ・介護職員初任者研修実施事業 未実施	・訪問診療や訪問看護のニーズ把握。 ・医療介護連携の相談窓口設置について検討中。 ・協議体の設置及び協議会の開催。	保健福祉課

<p>◇介護度の維持及び重度化防止のための介護サービスの充実と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅・施設・地域密着型サービスの充実 ・ 介護サービスの質の向上 ・ 利用者負担への支援 	<p>介護度の改善率の上昇 施設サービス利用者の割合 23.2%(H26 末)→維持 小規模多機能型居宅介護利用者の登録者数0人(H26 末)→24人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護認定率は18%台を維持、軽介護度の利用者が増加している。 ・ 4～9月の要介護認定更新・区分変更者における介護度維持・改善率は69.6% ・ 施設サービス利用者 8月末 79名(認定者322名中) 23.9% ・ 地域密着型特養が増えたことで、施設入所者が増加したが、ほぼ維持レベルの増。 ・ 小規模多機能型居宅介護利用登録 9月末 17名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要支援認定者は総合事業に移行し予防の強化。 ・ 改善して非該当・要支援になった人が介護保険給付以外の通いの場に移行できるような意識付けと環境作り。 	<p>保健福祉課</p>
<p>◇介護予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健常時からの動機づけや生活習慣改善に向けた支援の強化 ・ 官・NPO・大学との協働事業の推進(健康づくり・生きがいづくり・人づくりに効果) 	<p>まるごと元気アッププログラムへの延参加人数 15,600人(65人×48週×5年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年10月まる元開始から28年9月末時点で、延べ参加人数1,720名。 ・ お元気度測定会(9月)の実施(体力測定及び認知機能測定)100名参加。結果説明会(10月)に75名参加し、まる元運動教室の新規登録者10名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まる元運動教室への参加者の増加。 ・ 認知機能測定の実施数増によるMCI(軽度認知障害)の早期把握と対応。 	<p>保健福祉課</p>
<p>◇認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及啓発及びパンフレット作成 ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 ・ 認知症ケアパス作成 ・ 高齢者の見守り体制の構築 	<p>認知症施策にかかる協議体の設置及び協議会開催数→年3回 認知症初期集中支援チーム(専門サポート医等による対応 事例数)→年3事例 認知症ケア講演会の実施 認知症カフェの数→1か所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催 1回 ・ 認知症ケア講演会の開催 1回 参加人数 52名 ・ 認知症ケア関係者研修会の開催 1回 参加人数 25名 ・ 認知症ケアパスの検討(策定中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期集中支援チームによる活動(年度内3事例)。 ・ 認知症ケアパスの策定と普及啓発。 ・ 高齢者の見守り体制の構築。 	<p>保健福祉課</p>
<p>◇住民のニーズに適應した隙間のない支援と住民による支えあい活動により高齢者が不安なく過ごせる環境づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉協力員制度創設事業(高齢者等見守り体制の構築) <p>◇買い物や通院、見守りを支援する仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急通報システム ・ 除雪費助成事業 ・ 高齢者等福祉バスの運行 ・ 地域における互助活動推進(自主防災組織・サロン等) ・ 元気高齢者による買い物代行サービスの実施 	<p>小地域ネットワーク活動等地域活動の数→各行政区に1か所 生活支援にかかる協議体の設置及び協議会の開催数→年2回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小地域ネットワーク活動の数 4か所 ・ 生活支援体制整備の協議体の設置は未実施。 ・ ボランティアポイント制度による生活支援の体制づくりは検討中。 ・ 高齢者等福祉バスの運行 各路線(4路線)1便増便により運行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアポイント制度の開始。 	<p>保健福祉課</p>
<p>◇高齢者の住まいの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者見守り付安心住宅の整備 ・ 住宅改修やリフォーム費用の助成事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の住まい確保についてはCCRCにおいても検討課題となっているところ。具体的な検討は未実施。 ・ 住宅改修やリフォーム費用の助成。リフォーム5件 738千円。 ・ 介護保険法若しくは障害者自立支援法に規定する住宅改修2件 50千円。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者見守り安心住宅の整備。 ・ 町内業者への周知の徹底について。 	<p>保健福祉課 建設課</p>
<p>◇権利擁護センター機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度をはじめとする権利擁護事業の利用促進 	<p>市民後見人養成研修の受講者数6人(H26年度)→15人 権利擁護センター(法人後見)の成年後見制度受任件数1人(H27年8月)→5人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 権利擁護センターは社会福祉協議会へ委託。権利擁護センターへの市民後見養成研修修了者による登録者は2名。 ・ 平成27年6月に町長申立てした事案1件について、権利擁護センターにおいて後見用務を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民後見養成研修(広域実施に参加)の実施。 ・ 社会福祉協議会による法人後見用務の実施。 	<p>保健福祉課</p>
<p>◇生きがいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等の外出の機会を増やし、生きがいとなる活動の機会 	<p>65歳以上で週1回、各種活動の参加割合→70%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本チェックリスト集計結果に見える「週1回以上の外出がある」人の割合 92% ・ ボランティアセンターへのボランティア登録数。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政区、老人クラブ等に働きかけ、高齢者の居場所づくり 	<p>保健福祉課</p>

と働く場を確保する ・高齢者の居場所づくり（地域サロンの開催・まちなかサロン・サークル活動・老人クラブ活動など） ・地域活動ボランティアの育成 ・元気高齢者の短時間就労の構築	福祉ボランティア登録人数（社会福祉協議会所管）→80人 生きがい事業団（仮称）の設置→1か所	・ボランティアポイント制度開始に向けた研究会の発足と協議。 平成28年2月～ 研究会5回実施。	の推進。	
◇障がい者雇用の促進・支援 ・地元企業への就労の理解 ・障がい者福祉的就労の場の確保 ◇国等による障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進	障がい者就労継続支援B型事業所の設置→1か所 物品等の調達目標 2,000千円（1,501千円H26・1,571千円H27） （現状：花苗・指定ごみ袋保管・配送業務・花壇整備・管理業務など）	・NPO法人が平成28年11月1日より事業開始（北海道の指定）。 建築基準法上「児童福祉施設等」に適應するよう町有施設を改修 工事期間 平成28年6月24日～平成28年9月21日 ・町が障がい者就労施設等から物品等の調達。 平成28年度目標 1,521,000円 花苗購入、指定ごみ袋保管・配送業務、花壇整備・管理業務	・障がい者雇用について支援する人材の確保 事業所の安定運営 ・物品等の調達について施設等と協議し、実施可能な業務の確認作業を行う。	保健福祉課
◇町内障がい福祉サービス事業所（地域活動支援センター等）への通所利用促進	地域活動支援センター等利用者数（H26年8名）→13名	・障がい福祉サービス事業所への通所利用促進。 平成28年9月末 12名利用	・通所利用促進について町内において、障がいのある方で利用に結びつく方への訪問等を行う。	保健福祉課

4 移住定住による人口減少をくい止めるまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）
転入・転出入口	転出超過250人（2010～2014）	転入155人 転出90人

◇ひとの流れをつくる多様な就労拠点の整備と地域住民による受け入れ体制の構築

KPI

移住相談件数に対する移住件数の割合 1.5%（過去5年）	2.0%
------------------------------	------

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇テレワークの推進		・平成28年度から上士幌版テレワーク推進事業を開始。4月に株式会社トラストバンクから活用申請の申し込みがあった。 ・事務所開設に当たり、新たにパート従業員8名の雇用があった。	・現状1件の申込みとなり、2件目以降の利用促進に向け様々な周知方法を検討する必要がある。	企画財政課
◇企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の活用		・企業版ふるさと納税の導入についての課題整理を進めている。	・対象事業の選定及び寄附法人（企業）とのマッチング。	企画財政課
◇町民が上士幌町の魅力を伝える事業（道の駅整備等と連携）		・委託業務（上士幌町交流・移住促進拠点基本計画策定業務）の発注及び町民参画による「上士幌町交流・移住促進拠点基本計画策定検討委員会」を立ち上げ、基本計画を策定中。平成29年3月末までに計画を策定予定。	・次のステップとなる基本設計、実施設計につなげるため、しっかりとした基本計画づくりが必要となっている。	商工観光課

◇かみしほろの発信力と価値の向上による交流と定住促進

KPI

イベント参加人数に対する相談件数割合 3.3%	4.0%
ふるさと納税特典品として旅行商品を開発することによる入込客数	50組100人増加
特別町民証の発行による来訪者数	500組1,000人増加

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇移住定住プロモーションの推進	移住・二地域居住者数 15名 (H26) →20名/年	・H28 移住・二地域居住者数 2名 北海道暮らしフェア（大阪） 相談件数：61件 来場者数：900名 北海道暮らしフェア（名古屋） 相談件数：73件 来場者数：750名 上士幌暮らしセミナー①（東京） 相談件数：10件 来場者数：34名	・移住相談件数を増加させ、移住・二地域居住者を増加させるために、継続的、効率的に上士幌町に住んだ際の優位性のPRを行っていく必要がある。	商工観光課
◇ふるさと納税寄付者との交流の推進		・ふるさと納税大感謝祭を平成29年2月5日（日）に東京都内のロイヤルパークホテルにて開催することを決定。	・ふるさと納税により縁から、上士幌町のファンへ、また交流人口の増加へと繋げられるよう、より内容を充実させていく。	企画財政課
◇移住・定住相談の充実	移住相談件数 470件 (H26) →600件 (単年度)	・H28 上期移住相談件数 311件 ※コンシェルジュへの相談 167件、暮らしフェア等 144件	・移住相談件数を増加させ、移住・二地域居住者を増加させるために、継続的、効率的に上士幌町に住んだ際の優位性のPRを行っていく必要がある。	商工観光課
◇ふるさと納税による交流人口増加対策		・平成29年2月5日（日）に東京都内のロイヤルパークホテルにて、ふるさと納税寄付者を招き開催する「ふるさと納税大感謝祭」に併せ、田舎暮らしに興味がある一般の方を対象とした「上士幌まるごと見本市」を開催することを決定。	・見本市において紹介する、「子育て施策」「教育環境」「住宅環境」「無料職業紹介所」「上士幌版CCRC」等の各分野における町への受入れ体制を強化する必要がある。	企画財政課

◇滞在や定住に柔軟に対応する多様な施設整備

KPI

生活体験住宅数	5棟 (H26) →10棟 (H31)
生活体験モニター参加者数	36組94名 (H26) →50組150名 (H31)

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇生活体験住宅等の充実 ・生活体験住宅の推進		・定住促進賃貸住宅建設助成事業 受付19棟 39戸 助成予定額 48,300千円。	・民間賃貸住宅を効率的に移住者へ紹介していく方策の検	建設課 商工観光課

<ul style="list-style-type: none"> ・民間賃貸住宅を活用した定住支援 ・多様な生活体験住宅の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ・H28生活体験住宅数 10棟 ※町設置～短期用4戸、中長期用4戸・NPO設置～中長期用2戸 ・H28生活体験モニター参加数（町設置分） 32組71名 	<p>討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活体験モニター参加数を増加させ、移住・二地域居住者を増加させるために、継続的、効率的に上士幌町に住んだ際の優位性のPRを行っていく必要がある。 	
---	--	---	--	--

5 小さな拠点形成を目指すまち

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）
転入・転出入口	転出超過250人（2010～2014）	転入155人 転出90人

◇まちの整体（公共施設再編によるコンパクト化推進）

KPI

公共施設再配置	計画に基づく推進
---------	----------

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇多機能型生涯学習センターの建設（H28）		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター改築工事の実施。 ①建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 工期：平成28年4月28日～平成29年5月15日 ②既存部分改修工事 工期：平成28年6月8日～平成29年6月30日（予定） ③生涯学習センター愛称の募集 応募期間：平成28年11月15日～12月30日 ④必要備品の選定を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年6月の供用開始に向け、施設の維持管理・運営について整理し、関連条例、規則等の制定を進めるとともに、計画的な備品の購入を行う必要がある。 	教育委員会事務局
◇老朽施設の解体撤去補助		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽施設解体申請件数15件（解体済件数8件） 補助金額6,830,000円 ・町内市街地における空き家状況の把握のため、調査を実施。現在集計中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋所有者へ上士幌町老朽施設解体撤去促進事業の周知を図る必要がある。 	町民課
◇小規模まちなか挿入型住宅整備		<ul style="list-style-type: none"> ・建設予定地周辺の住民説明会実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上士幌町公営住宅等長寿命化計画の見直し。 ・今後のまちなか住宅候補地の選定。 	建設課
◇子どもや若者のための居場所づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター改築工事の実施。 ①建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 工期：平成28年4月28日～平成29年5月15日 ②既存部分改修工事 工期：平成28年6月8日～平成29年6月30日（予定） ③生涯学習センター愛称の募集 応募期間：平成28年11月15日～12月30日 ④必要備品の選定を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年6月の供用開始に向け、施設の維持管理・運営について整理し、関連条例、規則等の制定を進めるとともに、計画的な備品の購入を行う必要がある。 	教育委員会事務局

◇移動の利便性向上

KPI

農村部から市街地までの利便性に対する充足度（H27調査）	向上
------------------------------	----

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇地域交通ネットワークの構築		・平成27年度調査結果に基づき、拠点形成等の基本計画策定に向け取り組んでいる（民間委託）。	・住民等の利便性を高めるため、策定する計画に沿って速やかに事業を実施する。	企画財政課
◇国道等主要道路の整備拡充による第2次・第3次医療への移動時間の短縮	（関係機関に要請）	・主要懸案事項として、国等関係機関に要望書を提出。	・北十勝4町国道整備促進期成会とも連携し、引き続き関係機関に要請する。	企画財政課

◇地域活性化拠点の整備

KPI

新規雇用人数	15人
--------	-----

実施予定事業	事業目標	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇重点道の駅「仮称パルーン」整備		・委託業務（上士幌町交流・移住促進拠点基本計画策定業務）の発注及び町民参画による「上士幌町交流・移住促進拠点基本計画策定検討委員会」を立ち上げ、基本計画を策定中。平成29年3月末までに計画を策定予定。	・次のステップとなる基本設計、実施設計につなげるため、しっかりと基本計画づくりが必要となっている。	商工観光課

プラス・ワン 上士幌町創生包括プロジェクト 上士幌版CCRC

数値目標	基準値	目標値（H31まで5年間）
上士幌版CCRCによる移住	—	30世帯50人

取組内容	28年度上期取組内容	今後の課題	担当課等
◇上士幌版CCRC ・大都市高齢者の地方移住支援 ・地域社会との協働、スキルや知見の地域還元の推進 ・多様なプログラムや自主活動の構築により健康でアクティブな生活の実現 ・地域包括ケアによる継続的なケアの提供	・（株）コミュニティネットとの策定業務委託契約（プロポーザル選考による）により計画策定中。地域コーディネーターが町内で勤務。 ・事業主体形成 ・地域包括ケアの強化 ・受入住宅の検討 ・世代間交流促進 ・移住希望者募集	・地方創生拠点整備交付金（H28）対象事業に向けた事業内容精査。 ・まちづくり会社の設立に向けた業務内容の整理、調整及び確定。	企画財政課 保健福祉課